

令和3年度(2021年度)

管理事業名	緑化推進事業			総合計画の体系	大綱 6 政策 1 施策 3	都市形成 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり みどりの保全と創出
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 5 緑化推進費
部局名	土木部	予算執行所属	公園みどり室			
予算大事業名 緑化推進事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
<b>事業の目的と概要</b> <b>【目的】</b> ・緑地の保全、緑化の推進に関する施策の実施や、これらに関連する計画・方針等を策定し、みどりのまちづくりを推進します。 <b>【概要】</b> ・民有地の緑化を推進するため、みどりに関する協定の締結や助成制度の活用を図ります。 ・市民参画・協働によるみどりのまちづくりに参加するきっかけづくり、普及・啓発による意識の向上を目指したイベント等を実施します。秋に花とみどりの情報センター主催による「花と緑のフェア」への出展、竹林の暗闇の中で、竹筒の幻想的なあかりや楽曲を楽しむ「千里の竹あかり」、及び2月に市民の慶事を記念した植樹「記念植樹」を実施します。 ・みどりの現況等を適切に把握し、計画的に事業を実施するための基礎調査や「みどりの基本計画」等の計画・方針策定を行います。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
みどりの協定に関する相談件数及び啓発資料の配付数	件	—	128	134	みどりの協定の締結に関する市民からの相談件数、及び市民への啓発用資料の配付件数の合計
保護樹木及び保護樹林の指定件数	件	54	54	55	保護樹木及び保護樹林の指定件数(累計)
成果の説明	・みどりの協定及び保護樹木・保護樹林の各助成制度の取組を示す指標を設定し、市民への普及啓発をはじめとするみどりのまちづくりの取組を推進していきます。 ・みどりの協定に関心を寄せていただくため、資料による制度の紹介・啓発に努めています。 ・保護樹木・保護樹林の指定数については、横ばいで推移しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	280	-	20	20
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	49	74	7	△67
経常収入 小計(a)	329	74	27	△47
<b>給与関係費</b>	<b>46,177</b>	<b>36,294</b>	<b>34,279</b>	<b>△2,015</b>
物件費	10,614	1,262	973	△289
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	384	23	10	△13
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,953	3,155	2,782	△374
<b>退職手当引当金繰入額</b>	<b>△3,695</b>	<b>△5,323</b>	<b>1,017</b>	<b>6,340</b>
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	57,432	35,411	39,060	3,649
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△57,103	△35,337	△39,033	△3,696
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△57,103	△35,337	△39,033	△3,696
一般財源充当額	64,653	44,329	38,737	△5,592
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	7,550	8,992	△296	△9,288

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費 34,279千円(△2,015千円) 時間外勤務手当、事業従事人数の減少
退職手当引当金繰入額	職員人件費 1,017千円(+6,340千円) 退職手当引当金繰入額の増加

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	329	74	27	△47
<b>行政サービス活動支出</b>	<b>64,702</b>	<b>44,403</b>	<b>40,764</b>	<b>△3,639</b>
行政サービス活動収支差額	△64,373	△44,329	△40,737	3,592
投資活動収入	-	-	2,000	2,000
投資活動支出	280	-	-	-
投資活動収支差額	△280	-	2,000	2,000
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△64,653	△44,329	△38,737	5,592
一般財源充当額	64,653	44,329	38,737	△5,592
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	行政サービス活動支出 給与関係費 34,279千円
----------	------------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度	373,978 人	154 円	市民1人あたり103円のコストがかかっています。 主に退職手当引当金繰入額の増加により、1人あたりのコストが増加しています。
	令和2年度	376,944 人	94 円	
	令和3年度	378,781 人	103 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,155	2,782	△374
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	3,155	2,782	△374
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	固定負債	29,168	27,837	△1,330
有形固定資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	29,168	27,837	△1,330
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	32,323	30,619	△1,704
インフラ資産	-	-	-	純資産	678,508	678,212	△296
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	710,831	708,831	△2,000
建設仮勘定	-	-	-	出資金	390	390	-
重要物品	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	710,441	708,441	△2,000
投資その他の資産	710,831	708,831	△2,000	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	390	390	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	710,831	708,831	△2,000
基金	710,441	708,441	△2,000				
徴収不能引当金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	710,831	708,831	△2,000
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

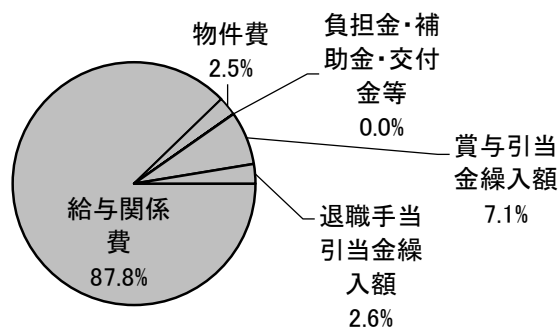
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	4.8人	0日	0日	
給与関係費等	38,077千円	0千円	0千円	38,077
内、時間外勤務手当	150千円			

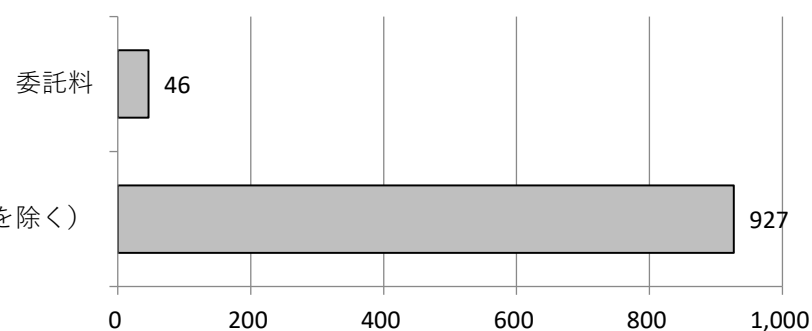
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
出資金	(公財)大阪みどりのトラスト協会 出捐金 390千円
基金	吹田市緑化推進基金 △2,000千円 2,000千円の取崩 1事業に充当

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.5	99.8	95.0	△4.8

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものについては、給与関係費34,279千円(87.8%)、賞与引当金繰入額2,782千円(7.1%)となっています。給与関係費の差額については、時間外勤務手当及び事業従事人数の減少によるものです。物件費973千円の内訳としては、みどりの協定の花苗代等に係る需用費927千円及び「千里の竹あかり」の会場整備等に係る委託料46千円となっています。また、緑化推進基金2,000千円を取崩し、樹木再資源化2,000千円に充当し、チップ化した伐採樹木をマルチング材やたい肥として再利用しています。  
なお、「千里の竹あかり」の会場整備等に係る委託料46千円は、新型コロナウイルスの影響により委託契約後に中止することとしたため、一部の準備業務に要した費用のみ支払ったものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

今後、「第2次みどりの基本計画(改訂版)」に基づき、市民、事業者、行政の多様な主体がそれぞれの役割に応じてみどりのまちづくりに主体的に取り組み、より豊かなみどりを着実に実現していく必要があります。  
みどりの保護及び育成に関する協定(みどりの協定)の締結や、保護樹木・保護樹林の指定など、様々な助成制度の活用についても、類似の事業相互の関連を整理し、市民ニーズにも対応したより効果的な事業体系となるよう、今後、見直しを更に進めていく必要があります。  
また、みどりのまちづくりに対する市民や事業者の意識向上のため、イベントを通じた普及・啓発を行っています。竹林を活用したみどりの保全意識の普及啓発については一定の成果を得られたと考えており、「千里の竹あかり」は令和4年度の開催を最後に終了とし、今後は竹に限定しない、みどりの保全の取組を行っていきます。